

資料編

1. 策定経緯

平成 26 年度	
年 月 日	内 容
平成 26 年 10 月 31 日	平成 26 年度 第1回 城里町教育振興基本計画庁内検討会議 ・策定方針について ・「城里町教育振興基本計画」に係るアンケート調査(案)について
平成 26 年 11 月 20 日	平成 26 年度 第1回 城里町教育振興基本計画策定委員会 ・委嘱 ・策定方針について ・「城里町教育振興基本計画」に係るアンケート調査(案)について
平成 26 年 11 月 28 日 ～12 月 12 日	「城里町教育振興基本計画」に係る小・中学生保護者アンケート調査の実施
平成 26 年 12 月 4 日 ～12 月 12 日	「城里町教育振興基本計画」に係る小・中学校教職員アンケート調査の実施
平成 26 年 12 月 4 日 ～12 月 22 日	「城里町教育振興基本計画」に係る町民アンケート調査の実施
平成 26 年 12 月 19 日	団体ヒアリング調査1 ①小・中学校長対象 ②小・中学養護教諭、指導主事等対象 ③文化協会代表、公民館代表等対象
平成 27 年1月 13 日	団体ヒアリング調査2 ①社会教育委員、文化財保護審議会代表等対象 ②青少年相談員、子ども会代表等対象
平成 27 年1月 19 日	団体ヒアリング調査3 ①小・中学校 PTA 対象 ②体育協会代表、スポーツ推進委員等対象
平成 27 年2月 27 日	平成 26 年度 第2回 城里町教育振興基本計画庁内検討会議 ・城里町の概況について ・城里町の教育の現状について ・城里町教育振興基本計画に係るアンケート調査報告 ・城里町教育振興基本計画策定に係る関係団体ヒアリング調査報告
平成 27 年3月 12 日	平成 26 年度 第2回 城里町教育振興基本計画策定委員会 ・城里町の概況について ・城里町の教育の現状について ・城里町の教育における課題と今後の取組方向について ・城里町教育振興基本計画に係るアンケート調査報告 ・城里町教育振興基本計画策定に係る関係団体ヒアリング調査報告

平成 27 年度	
年 月 日	内 容
平成 27 年 6 月 15 日	教育長ヒアリング <ul style="list-style-type: none"> ・教育の基本理念 ・学校教育の方針 ・生涯学習の方針 ・文化財について ・幼児教育について 等
平成 27 年 7 月 1 日	平成 27 年度 第 1 回 城里町教育振興基本計画庁内検討会議 <ul style="list-style-type: none"> ・基本構想の策定について ・教育振興基本計画施策・事業調査
平成 27 年 8 月 4 日	平成 27 年度 第 1 回 城里町教育振興基本計画策定委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・基本構想の策定について
平成 27 年 10 月 8 日	平成 27 年度 第 2 回 城里町教育振興基本計画庁内検討会議 <ul style="list-style-type: none"> ・基本計画について
平成 27 年 11 月 4 日	平成 27 年度 第 2 回 城里町教育振興基本計画策定委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・基本理念について ・基本計画について
平成 27 年 12 月 7 日 ～平成 28 年 1 月 6 日	城里町教育振興基本計画(素案)に関するパブリックコメントの実施
平成 28 年 2 月 3 日	平成 27 年度 第 3 回 城里町教育振興基本計画策定委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメント結果報告 ・計画の推進について
平成 28 年 2 月 25 日	教育委員会議決
平成 28 年 2 月 25 日	城里町教育振興基本計画策定

2. 城里町教育振興基本計画策定委員会設置要綱

平成 26 年 4 月 1 日
教育委員会告示第 4 号

(設置)

第1条 この告示は、教育基本法(平成 18 年法律第 120 号)第 17 条第2項の規定による城里町教育振興基本計画(以下「基本計画」という。)の策定にあたり、必要な事項について審議を行うため、城里町教育振興基本計画策定委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について審議を行う。

- (1) 基本計画の原案作成に関すること。
- (2) その他目的達成のために必要と認められること。

(組織)

第3条 委員会は、11 名以内の委員をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから教育長が委嘱する。

- (1) 学識経験者
- (2) 学校教育関係者
- (3) 社会教育関係者
- (4) その他教育長が適当と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱の日から基本計画原案策定の日までとする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長及び副委員長は、委員のうちから互選する。

3 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議(以下「会議」という。)は、必要に応じて委員長が招集し、議長を務める。ただし、最初にかかれる会議は、教育長が招集する。

2 委員会は、委員の過半数以上の出席がなければ会議を開くことができない。

3 委員長は、必要があると認められるときは、委員以外の者を会議に出席させ、意見若しくは説明を求めることができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、教育委員会が行う。

(報酬)

第8条 委員の報酬及び費用弁償は、城里町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例(平成 17 年城里町条例第 38 号)に定めるところによる。

(委任)

第9条 この告示に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が会議に諮って定める。

附 則

この告示は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

3. 城里町教育振興基本計画策定委員会委員名簿

	氏名	役職等	備考
1	野 沢 恵 子	水戸教育事務所 学校教育課長	平成 27 年 3 月 31 日まで
	片 山 聡 彦		平成 27 年 4 月 1 日から
2	佐々木 英 治	水戸教育事務所 主任社会教育主事	
3	阿久津 三 朗	常北小学校校長	
4	高 岡 秀 夫	常北中学校校長	○副委員長
5	綿 引 ひとみ	常北幼稚園教頭	
6	篠 田 多介志	沢山小学校PTA会長	
7	加 藤 幸 子	常北中学校PTA会長	
8	岩 下 幸 生	体育協会会長	
9	園 部 春 香	社会教育委員会議議長	
10	大 畠 庄	文化協会会長	
11	桐 原 健 一	町議会教育産業常任委員会 委員長	◎委員長

4. アンケート調査結果概要

(1) 調査目的

「城里町教育振興基本計画」の策定にあたり、基礎資料として活用するために、城里町の学校教育・生涯学習に関するアンケート調査を実施しました。

(2) 調査対象

- 町立小・中学校に通学している児童生徒の保護者全員
- 町立小・中学校に勤務している教職員全員
- 町内在住の20歳以上の町民1,000人(無作為抽出)

(3) 調査方法

- 児童生徒の保護者及び教職員のアンケートについては、各学校で配布・回収しました。
- 町民アンケートについては、郵送にて配布・回収しました。

(4) 調査期間

- 小・中学生保護者アンケート 平成26年11月28日～平成26年12月12日
- 小・中学校教職員アンケート 平成26年12月4日～平成26年12月12日
- 町民アンケート 平成26年12月4日～平成26年12月22日

(5) 配布・回収状況

	配布数	回収数	回収率
小・中学生保護者アンケート	1,166	1,017	87.2%
小・中学校教職員アンケート	140	127	90.7%
町民アンケート	1,000	289	28.9%

(6) 小・中学生保護者へのアンケート調査結果概要

【児童生徒の普段の様子】

- 保護者からみて、児童生徒の7割は学校に楽しそうに通っており、低学年ほどその傾向が高くなっています。また、授業の理解度は、小学生で9割、中学生では6～7割が理解していると回答しています。
- 家庭での学習は、家で宿題をすることについては、特に小学生ではほぼ定着しています。
- 全体では、授業の予習を「いつもやっている」または「時々やっている」との回答は約3割、授業の復習を「いつもやっている」または「時々やっている」との回答は約5割で、予習より復習が定着しています。
- 学校の指導では、「熱心な指導」と「児童生徒との信頼関係の構築」での評価は高く、「個人に合った学習・指導をしている」の評価は低くなっています。

【児童生徒の生活について】

- 児童生徒の「スマートフォンなどの所持の状況」については、中学生になると「スマートフォン」の所有が2割以上と急に高くなっています。また、利用は必要と考えるものの、制限をかけることも必要とする保護者が多く4割を超えています。一方、ネットトラブルの不安やできることなら持たせたくないとの回答も3割を超えています。
- 「教育についての悩み」では、「学校の成績」、「子どもの友達関係」、「進学・進路について」の割合が高

く、相談相手については「家族」や「友人」など身近な人に相談する割合が高くなっています。

- 「お子さんの健康管理」についての悩みは、「朝起きられない」、「夜遅くまで起きている」の割合が高く、子どもの睡眠不足が懸念されます。また、「ゲームばかりしている」の割合も高くなっています。

【城里町の学校教育全体について】

- 城里町の学校教育については、満足度、重要度ともに高く、特に重要度は大変高くなっています。
- 満足度、重要度ともに高い項目は「緊急時の保護者との連絡体制」と「避難訓練」となっています。
- 重要度は高いものの満足度は他の項目ほど高くない項目は、「物事を多様な観点から論理立てて考えること」、「いじめ・暴力行為等の問題への取組・未然防止」、「通学路の安全確保対策」となっています。

【学校教育における学力や規範意識の定着について】

- 学校教育における学力や規範意識の定着については、重要度、定着度ともに高くなっています。
- 重要度、定着度ともに高い項目は、「社会的な常識やマナーを身につける」、「豊かな心や道徳心を身につける」、「コミュニケーション能力を身につける」、「規則正しい基本的な生活習慣を身につける」となっています。
- 定着度が最も高い項目は「体力や運動能力を身につける」、一方、最も低い項目は「英語を聞いたり話したりする力を身につける」となっています。

【城里町の学校教育に関する施策・事業について】

- 城里町の学校教育に関する施策・事業については、必要度、充実度ともに高くなっています。
- 充実度が最も高い項目は「ふれあいの船事業」となっています。
- 必要度が高い項目は、「いじめ問題などの相談体制の整備」、「放課後児童クラブ(学童保育)」となっています。
- 充実度が低い項目は、「教科での少人数指導」、「習熟度別指導」、「補習等の学習支援」となっています。

【地域とのかかわりについて】

- 「家庭・地域と学校の連携・協力体制」が整っていると感じている保護者の割合は高く、「学校の登下校時間に、地域で子どもの安全を見守る」ことが必要と考えています。
- 「子どもが城里町に住み続けること」については、「どちらでもない」が5割弱と多いものの、「望んでいる」割合が「望んでいない」と比較しやや高くなっています。

【家庭での教育について】

- 家庭で心がけていることは、「悪いことはきちんと叱り納得させること」と「週に1回は家族揃って食事をする機会をつくること」が高い割合となっています。

【自由記述（意見・要望）】

- 「小学校・中学校での学習の向上」に関するものが最も多く、英語学習の充実やパソコンを使った授業の導入のご意見・ご要望がありました。

(7) 小・中学校教職員へのアンケート調査結果概要

【児童生徒の指導について】

- 「生徒指導をする上での課題」については、「指導をしているが効果が発揮できない」、「保護者の協力が得られない」の割合が高くなっています。
- 一方で「児童生徒との信頼関係が築けない」は4.0%となっており、生徒との関係は良いことがわかります。
- 「学習指導する上での課題」については、「基礎的な学力の向上を目指した指導」、「児童生徒のコミュニケーション能力の育成」の割合が高くなっています。
- 「保護者との対応で悩んでいる」ことについては、「悩みはあるが、何とか対応できる範囲である」が最も高い割合となっています。

【城里町の学校教育全体について】

- 城里町の学校教育については、満足度、重要度ともに高く、特に重要度は大変高くなっています。
- 満足度、重要度ともに高い項目は「いじめ・暴力行為等の問題への取組・未然防止」となっています。
- 重要度が最も高い項目は「基礎的な学力を確実に身につける学習」となっています。
- 満足度が最も高い項目は、「学校行事(運動会・文化祭など)」となっています。
- 満足度・重要度ともに最も低い項目は、「ICTを活用した授業」となっています。

【学校教育における学力や規範意識の定着について】

- 学校教育における学力や規範意識の定着については、重要度、定着度ともに高くなっています。
- 重要度、定着度ともに高い項目は、「規則正しい基本的な生活習慣を身につける」、「豊かな心や道徳心を身につける」となっています。
- 定着度が最も高い項目は、「体力や運動能力を身につける」となっています。
- 定着度・重要度ともに最も低い項目は、「コンピュータを活用し、情報モラルを身につける」となっています。

【城里町の学校教育に関する施策・事業について】

- 城里町の学校教育に関する施策・事業については、必要度、充実度ともに高くなっています。
- 必要度、充実度とも高い項目は「ALTによる指導」となっています。
- 必要度が高く、充実度も高めの項目は、「TT指導」、「いじめ問題などの相談体制の整備」となっています。
- 必要度が最も低い項目は「ふれあいの船事業」、充実度が最も低い項目は「習熟度別指導」となっています。

【勤務の状況・校内環境について】

- 「勤務していて感じること」については、「一人ひとりに応じた学習指導が以前よりも求められるようになった」、「調査や事務関係の仕事の分担が増えた」の割合が高くなっています。
- 職務については、9割以上の教職員が忙しいと感じており、7割以上がこの1年間でストレスは増えたと回答しています。
- 「日々の業務での課題」については、「家庭の教育力の低下」、「児童生徒の道徳心や規範意識などの低下」、「児童生徒の基本的な生活習慣の乱れ」と児童生徒の生活面での課題が高い割合となっています。
- 「受けた研修」については「教科の効果的な指導方法」が最も高く、勤続9年以下の教職員では、他の勤続年数と比較して研修を受けたい割合が高くなっています。
- 充実・改善してほしい学校施設や設備については、「コピー用紙など消耗品」、「電子黒板・実物投影機」、「冷暖房設備」、「体育館」、「校務用コンピュータ」の割合が高くなっています。

【地域との連携について】

- 「家庭・地域と学校の連携・協力体制」が整っていると感じている教職員が大変多く、「学校での地域の人材活用」としては、「学校行事の時の協力活動」、「児童生徒の防犯・交通安全の活動」、「生活科や総合的な学習の時間の講師や教師の補助」となっています。

【自由記述（意見・要望）】

- 「予算、消耗品・備品の不足について」が最も多く、各学校で使える予算を増やしてほしい、消耗品代が足りていない等のご意見・ご要望がありました。

（8）町民アンケート調査結果概要

【城里町の教育環境についての満足度と重要度】

- 城里町の教育環境について満足度と重要度について、5段階での評価をしたところ、項目全体の平均値は満足度が 2.8、重要度が 4.1 となっており、満足度がやや低い値を示しています。「いじめ・暴力問題への取組」、「学校・地域が連携した通学路の安全確保」は、重要度は高いものの、満足度はやや低い項目となっています。
- に満足度が高い項目は「学校給食・食育の充実」、「体育の授業や部活動によるスポーツの機会の充実」、「自然体験活動や集団宿泊体験等の体験活動の充実」となっています。
- 地区別にみると、3地区で差が大きい項目は「保護者や地域住民の力を学校運営に活かす仕組み」の重要度、「英語をはじめとする外国語教育」の満足度などとなっています。

【地域や家庭で行う生涯学習活動について】

- 地域や家庭で行う生涯学習として、「学んでみたい分野」は「スポーツに関するもの」、「職業や資格に関するもの」が多くなっています。
- 学んだ知識や技能を「自分や家族の教養・生活の向上」、「仕事や就職のための技能向上」に役立てたいと回答した人が多くなっています。

【コミュニティセンター城里について】

- コミュニティセンター城里の「公共交通の利便性」については、約1割が「満足」と回答していると同時に、約1割が「不満」と回答しています。
- 男女別に見ると、「利用のしやすさ」において、「男性」よりも「女性」の満足度が高い傾向があります。

【公民館について】

- 昨年1年間の公民館の利用は、「20 歳代」では、ほとんど利用がなく、年齢が高くなるにしたがい、利用している人の割合が高くなる傾向がうかがえます。
- 公民館別に満足度をみると、「常北公民館」は、他地区の公民館に比べて、「場所・公共交通の利便性」についての満足度が高くなっていますが、「公民館主催の講座・行事」は満足度が低くなっています。
- 「桂公民館」では、「調理室や和室などの特別室」についての満足度が低くなっています。
- 「七会公民館」では、「開館時間」、「公民館主催の講座・行事」についての満足度が、他の公民館に比べて高くなっています。

【桂図書館について】

- 「桂図書館の利用」については、「ほとんど利用していない」が約半数を占めています。特に「20 歳代」の利用が少なくなっています。
- 「桂図書館にどのような機能やサービスを求めるか」については、新しい図書や DVD など取りそろえて欲しい、開館日・利用時間の拡大についてのご意見をいただきました。

【文化・芸術活動について】

- 「文化・芸術活動の分野で学んでみたい分野」については、「健康・食生活」、「パソコン・情報処理」が多くなっています。
- 「伝統工芸品(栗野春慶塗、桂雛など)」については、約7割の人が「見たこと・体験したことがある」、「知っている」と回答しています。「郷土芸能・無形文化財(八木節源太おどり、古内大杉ばやしなど)」、「郷土資料館の展示」については、半数以上が「知らない」と回答しています。

【生涯スポーツ活動について】

- 「現在やっているスポーツ」は、「ウォーキング・散歩」、「スキー・スノーボード」が多くなっています。
- 「今後やってみたいスポーツ」については、「ヨガ」、「ウォーキング・散歩」が多くなっています。
- 「スポーツをやっていない理由」としては、「忙しい、時間がない」が最も多く挙げられています。

【地域のコミュニティの形成に向けた生涯学習活動について】

- 「ボランティア活動などの地域コミュニティでの活動に参加しているか」については、全体の約6割が「まったく参加しない」となっています。
- 「城里町における生涯学習ボランティアの活動を盛んにするために必要なこと」については、4割以上の人が「子どものころからのボランティア体験活動」、「生涯学習ボランティア情報を提供する窓口の充実」を挙げています。

【学習情報の提供について】

- 「生涯学習の情報をどこから得ているか」については、「20 歳代」、「30 歳代」では「インターネット」が多く、「40 歳代」から「60 歳以上」の年齢では、「友人、知人、同僚、家族」が多くなっています。
- 「生涯学習を盛んにしていくために必要な学習情報」としては、「講座や教室の内容や開催情報」が最も多くなっています。

【指導者の育成について】

- 「生涯学習の指導者の充実」については、「様々な分野の指導者の充実」、「質の高い指導者の増加」が求められています。
- 「生涯学習の指導者を育成していくために必要なもの」として、「町民の生涯学習の意欲を高める」、「小中学校など人が集まる場所を利用して、広く指導者を募集する」が多く挙げられています。

【青少年の健全育成について】

- 「地域の子どもが主体となる活動(子ども会、ボーイスカウトなど)」については、約4割が「参加している(いた)」と回答しています。
- 「青少年健全育成に取り組むために、力を入れること」については、「家庭における教育力の向上」が多くなっています。

【自由記述(意見・要望)】

- 城里町の学校教育・生涯教育については、「講座・学習の機会について」、「学校教育・学力について」、「情報・PRについて」等、多岐にわたり、様々なご意見・ご要望をいただきました。

5. ヒアリング調査結果概要

(1) 調査の目的

城里町の教育にかかわる団体の方を対象に、町の学校教育・生涯学習の実状、地域の歴史・文化について、また、町の教育に対するご意見・ご要望等を聴取し、計画策定の基礎資料として活用することを目的にヒアリング調査を実施しました。

(2) ヒアリングの実施方法

学校教育に関する団体3グループ、生涯学習に関する団体4グループに調査を依頼し、以下の日程で、グループごとにヒアリング調査を実施しました。

実施日	平成26年12月19日	平成27年1月13日	平成27年1月19日
実施場所	コミュニティセンター 城里	常北公民館	常北公民館
学校教育	小・中学校長	●(8名)	
	小・中学PTA		●(8名)
	小・中学養護教諭、指導主事等	●(6名)	
生涯学習	社会教育委員、文化財保護審議会 代表等		●(4名)
	青少年相談員、子ども会代表等		●(5名)
	体育協会代表、スポーツ推進委員等		●(5名)
	文化協会代表、公民館代表等	●(5名)	
合計	41名		

(3) 調査項目

<学校教育>

- ・城里町の学校教育の課題について
- ・教育において重点的に取り組むべきことについて
- *他に、グループごとで専門的な質問を実施

<生涯学習>

- ・城里町の生涯学習の課題・活動の方向性について
- ・生涯学習において重点的に取り組むべきことについて
- *他に、グループごとで専門的な質問を実施

○ヒアリング結果のまとめ（学校教育グループ）

項目	課題
学力の向上について	・自尊感情が低いことが課題。社会を生き抜く力を身につけることは、郷土に誇りをもってもらえることにもつながる。
時代に対応した教育	・情報化に対応した教材の充実。
読書活動の充実	・中学校における読書活動の推進。 ・図書館は、子どもが1人で行けない距離だと、足が遠のいてしまう。
国際化の課題について	・ALT以外に外国人とふれあう機会が少ない。
子どもの心身の健康について	・スクールカウンセラーや心の相談の充実。 ・小学校入学時に肥満、虫歯がある子どもがおり、乳幼児からの指導が必要。 ・少人数の学校の中で、コミュニケーション不足を感じる。 ・幼・小・中が連携した食育。
特別支援教育の充実について	・発達障害のあるような子どもの割合が増えてきていると感じる。 ・就学指導委員会(平成27年度から教育支援委員会)での判断に、保護者の理解が得られず、指導が進まないケースがある。
人材・設備について	・小規模学校が多く、人材・備品ともに不足している。 ・教職員の質の向上、指導のための環境整備が必要。
生活習慣について	・基本的な生活習慣が、若干低い傾向にある。 ・両親が働いていると、夕食が遅くなってしまうこともあり、子どもの生活に影響がある。
食育について	・朝食を食べる割合は増えているが、バランスの良い朝食を食べる割合が少なくなっている。 ・地域の料理上手な人など、地域の人材を活用した食育が必要。 ・地産地消については、生産者の高齢化で入手できる量が減ってきている。
携帯・スマートフォンのトラブルについて	・書き込みの内容で友達関係がギクシャクしたりする。 ・ITリテラシーの教育をしたほうが良い。
部活動について	・少人数なので、やりたいことができない。 ・全員強制的に入部となっていることはどうか。 ・中学校間での部活の連携、町内中学校の部活を選べるようにする。
安全・安心な環境	・スクールバスの運行について再検討が必要。 ・体育館の耐震工事、体育館の修繕。 ・家から学校へ、安心して行って帰って来られるような通学の環境を整えてほしい。
少子化の問題について	・人間関係が固定化しないよう、広い目を養ってほしい。 ・小中連携も含めて、活発化してほしい。 ・人数が少ないので、言葉で説明しなくても通じるようになってしまっている。 ・切磋琢磨できる環境が少ない。 ・城里町で生活していきたい、城里町で学んでよかったと思えるような施策をしてほしい。 ・大学を卒業しても、やりたい仕事が町内にない。 ・大学等の進学で町を出ても5～10年後に城里町に戻ってくるような視点を教育に取り入れる。
放課後児童クラブについて	・無理に学校の施設を使わずに、民間の施設を使ってもいい。 ・教育委員会、役所、学校の連携が必要。 ・窓口になっている福祉課と、放課後児童クラブの指導員との交流、情報の交換が重要。

○ヒアリング結果のまとめ（生涯学習グループ）

項 目	課 題
生涯学習の広報・PRについて	<ul style="list-style-type: none"> ・講座・活動のPRが少なく、知られていない。 ・活動を発表する場が少ない。 ・価値のある作品が展示されているが、情報が少なく、たまたま公民館を訪れた人が目にする程度になっている。
講座の内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・より深く学びたい人が学べる場所が少ない。 ・パソコンの講座は人気があったが、予算の都合により実施できていない。 ・町民の学習要求に応えられているか、疑問に感じる。もっと他に学習したいことがあるのではないかと思われる。 ・優れた人材を生かし、専門性を高めたワンランク上の展示があってもいい。
関係機関の連携について	<ul style="list-style-type: none"> ・行政から公民館等へのかかわりが弱く、教育指導員任せになっていると感じる。 ・公民館と教育委員会や関係部署との連絡会議を開いてほしい。 ・各分野での交流が必要。
利用方法について	<ul style="list-style-type: none"> ・1か月前の予約しか受け付けていないので、予約が取りにくい。 ・あまり使われていない部屋がある。
施設・設備・備品について	<ul style="list-style-type: none"> ・パネル、ガスオープンなどが不足しており、公民館同士で借用して対応している。 ・トイレ設備は、旧式トイレから改善が必要ではないか。 ・スポーツ施設の管理体制。日常的な整備を地道にやっていく必要がある。 ・修繕が必要なスポーツ施設がある。他市町村との大会を受け入れられるような整備を。
講師について	<ul style="list-style-type: none"> ・講師が見つからず、講座を開催できないときがある。 ・城里町内の講師一覧などがあるといい。 ・城里町には、芸術分野で優れた人材が豊富。作家展など、芸術活動を底から押し上げるような企画をしてほしい。 ・スポーツの指導者が不足している。 ・有名選手が来て実技を見せてくれるような機会があれば、子ども達へのよい影響になるのではないか。
講座・教室への参加について	<ul style="list-style-type: none"> ・講座・サークルに新しい会員が入ってこない。 ・地区の活動に一部の人しか参加がない。 ・若い人は忙しいので参加が少ない。 ・公民館の昼間の講座は高齢者向け。若い人のための土日、夜間の講座が必要。（夜間の講座の講師がいらない） ・人口が減少していて、スポーツチームの人数が揃わない。 ・若い人を集めたいが、続かない。
郷土資料・文化財について	<ul style="list-style-type: none"> ・旧町村の文化財が1つにまとまっていないので、城里町には文化財が何もないイメージが強い。 ・発表の場が少ないので、無形文化財について知らない人が多い。 ・文化財の活性化のため、行政の中に埋蔵文化財の専門職が必要。
町の実状と少子・高齢化について	<ul style="list-style-type: none"> ・水戸へ働きに行っても、城里に住みたいと思わせるよう、精神的な充実、子育て支援の充実が必要。 ・結婚していない人が多い。 ・自治会には入っているが、子ども会に入る人が少ない。子ども会が減っている。 ・親が働く場所を求めて、町外へ出て行ってしまう。 ・町内の住宅が老朽化しており、水戸市などにより住宅ができています。

 ■ 城里町教育振興基本計画 ■

発行 平成 28 年 3 月

発行者 城里町教育委員会

〒311-4303 茨城県東茨城郡城里町石塚 1428-1

Tel : 029-288-7010

<http://www.town.shirosato.lg.jp/>